

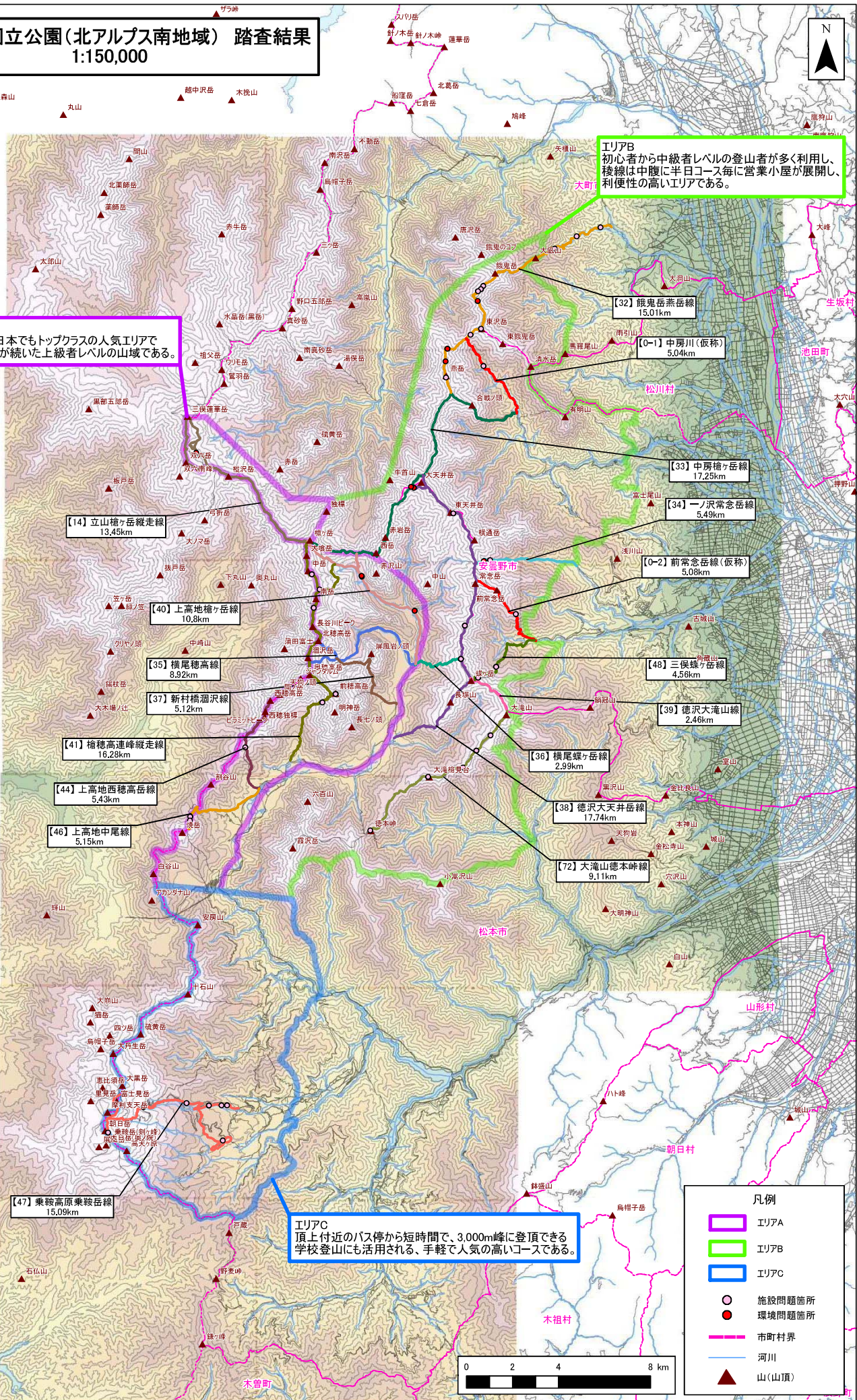
**中部山岳国立公園(北アルプス南地域) 踏査結果**  
1:150,000



**エリアA**  
上高地を基地とした日本でもトップクラスの人気エリアで主稜線は険しい岩稜が続いた上級者レベルの山域である。

**エリアB**  
初心者から中級者レベルの登山者が多く利用し、稜線は中腹に半日コース毎に営業小屋が展開し、利便性の高いエリアである。

**エリアC**  
頂上付近のバス停から短時間で、3,000m峰に登頂できる学校登山にも活用される、手軽で人気の高いコースである。



- 凡例**
- エリアA
  - エリアB
  - エリアC
  - 施設問題箇所
  - 環境問題箇所
  - 市町村界
  - 河川
  - ▲ 山(山頂)

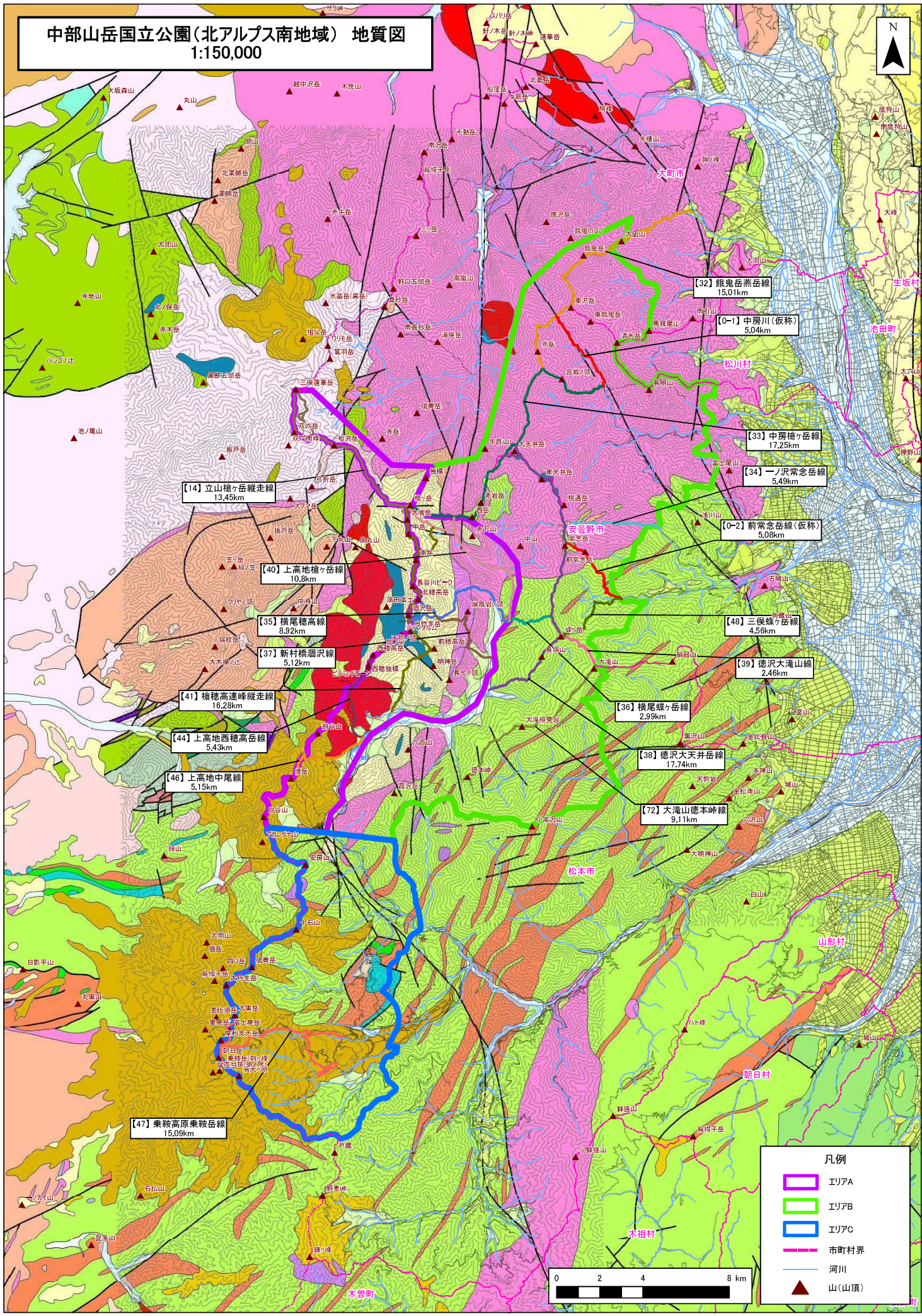


公園区分 - 国立

公園名 - 中部山岳 北アルプス南部

| ゾーン                    | エリア A<br>槍ヶ岳・穂高岳                                                                  | エリア B<br>燕岳・蝶ヶ岳                                     | エリア C<br>乗鞍岳                                                     |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 地形・地質                  | 槍ヶ岳、穂高岳は、火山岩類や花崗閃緑岩等の深成岩類からなる。                                                    | 蝶ヶ岳～大滝山は古生界の堆積岩類やチャートからなり、餓鬼岳、燕岳は花崗岩類からなる。          | 更新世の火山岩（安山岩、玄武岩）からなり、なだらかなコニーデ型の火山。                              |
| 植生・自然                  | 涸沢や槍沢周辺の豊富な高山植物、夏でも雪渓がみられ、北アルプスを代表する山岳景観を有した魅力が多い。                                | 頂上部は森林限界から上にあり、豊かな景観を持っている。                         | 夏の雪渓、コマクサやライチョウが容易に見られる。                                         |
| 登山レベル                  | 槍ヶ岳から穂高岳の主稜線は険しい岩稜が続き、上級レベルである。岩稜にあこがれる登山者は多く、鎖場やはしご場は順番待ちで渋滞する日も多い。              | 初級から中級、蝶ヶ岳や大滝山はなだらかである。餓鬼岳や霞沢岳は登山者も少なく、急峻で上級コースである。 | ハイキングコースや初級コースが多い。                                               |
| 施設整備状況<br>(トイレ、山小屋、道標) | 稜線や中腹には半日コース毎に営業小屋が展開し、利便性が高い。施設も充実している。                                          | 稜線や中腹には半日コース毎に営業小屋が展開し、利便性が高い。                      | 頂上付近まで道路が開いているが、旧登山道（鈴蘭から）は整備が十分でなく、廃道寸前のコースもある。学校登山コースにも使われている。 |
| その他                    | 上高地を基地として、このエリアは日本でもトップクラスの人気がある。前穂高東壁、屏風岩、滝谷等の岩場を擁し、ロッククライミングのメッカにもなっているが、事故も多い。 | 六百山、霞沢岳、餓鬼岳は人気が少ない。常念岳や燕岳は人気コースである。                 | 頂上付近のバス停から短時間で3000m峰に登頂できるため、手軽で人気のコースとなっている。                    |

中部山岳国立公園(北アルプス南地域) 地質図  
1:150,000



[14] 立山槍ヶ岳縦走線  
13.43km

[40] 上高地槍ヶ岳線  
10.8km

[35] 横尾穂高線  
8.92km

[37] 新村橋瀬沢線  
5.12km

[41] 槍穂高連峰縦走線  
16.28km

[44] 上高地西穂高岳線  
5.43km

[46] 上高地中尾線  
5.15km

[47] 乗鞍高原乗鞍岳線  
15.09km

[32] 鏡鬼岳燕岳線  
15.01km

[0-1] 中房川(仮称)  
5.04km

[33] 中房槍ヶ岳線  
17.25km

[34] 一ノ沢常念岳線  
5.49km

[0-2] 前常念岳線(仮称)  
5.08km

[48] 三俣嶽ヶ岳線  
4.56km

[39] 徳沢大滝山線  
2.46km

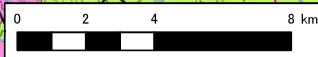
[36] 横尾蝶ヶ岳線  
2.99km

[38] 徳沢大天井岳線  
17.74km

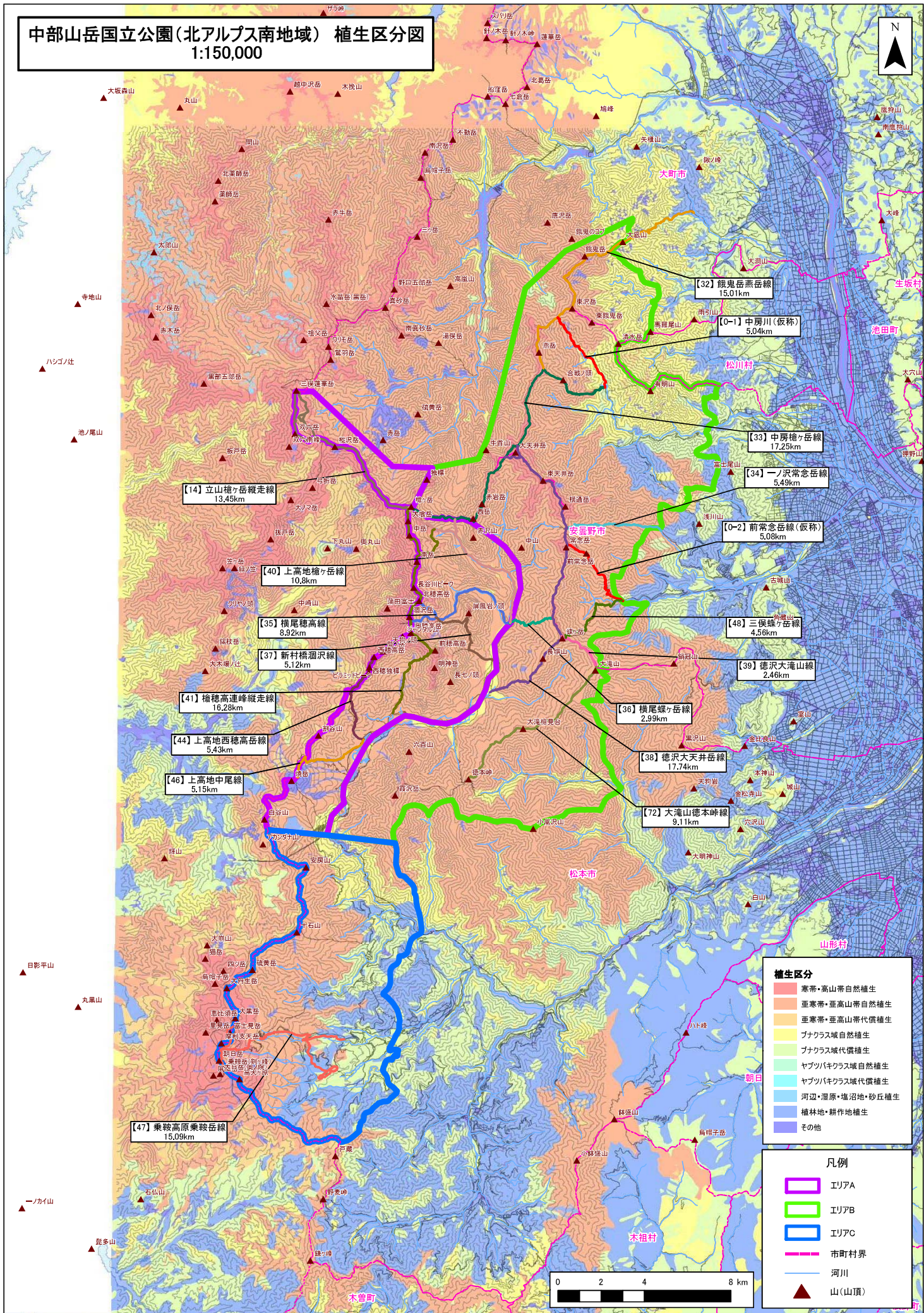
[72] 大滝山徳本峠線  
9.11km

凡例

- エリアA
- エリアB
- エリアC
- 市町村界
- 河川
- ▲ 山(山頂)



# 中部山岳国立公園(北アルプス南地域) 植生区分図 1:150,000



- 植生区分**
- 寒帯・高山帯自然植生
  - 亜寒帯・亜高山帯自然植生
  - 亜寒帯・亜高山帯代償植生
  - ブナクラス域自然植生
  - ブナクラス域代償植生
  - ヤブツバキクラス域自然植生
  - ヤブツバキクラス域代償植生
  - 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生
  - 植林地・耕作地植生
  - その他

- 凡例**
- エリアA
  - エリアB
  - エリアC
  - 市町村界
  - 河川
  - 山(山頂)

